

FUJIIRYōKI

家庭用

Zerofloat

マッサージチェア

品番：AS-650ZG

医療機器認証番号：223AGBZX00207000
類別：機械器具 77 パイプレーター
管理医療機器 一般的名称：家庭用電気マッサージ器

添付文書 **取扱説明書**

保証書付
裏表紙にあります

設置方法については、
6～10ページに従って
行ってください。

安全上のご注意	2
ご使用前の準備	6
各部のなまえとはたらき	11
毎回マッサージをはじめる前に	13
各部の使い方	14
肩位置の調節のしかた	17
自動コースの使い方	18
自動コース動作中の調節のしかた	20
手動マッサージの使い方	21
途中でマッサージを変更するときは	24
お手入れと保管のしかた	25
Q&A	27
故障かなと思ったら	29
愛情点検	30
保証とアフターサービス	30
仕様	31
保証書	裏表紙



使用目的・効能または、効果

〔 あんま、マッサージの代用 〕
〔 一般家庭で使用する こと 〕

- このたびは当社のマッサージチェアをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。
- お読みになったら後は、必ずいつでも見ることできる場所に保管してください。
- 包装に使用しているダンボールなどは、分別のうえリサイクルにご協力をお願いします。



安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または * 物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。

* 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

＜絵表示の例＞


	⊘ 記号は、その行為を 禁止 することを告げるものです。 図の中に具体的な指示の内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、その行為を 強制 したり、 指示 したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

- 本取扱説明書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることできる場所に、必ず保存してください。




お願い

- 本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

警告


	<p>次の人は、ご使用前に医師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none">● ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人● 悪性しゅよう（腫瘍）のある人 ● 心臓に障害のある人● 妊娠中、または出産直後の人● 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人● 皮膚に創傷のある人 ● 安静を必要とする人● 体温 38℃以上（有熱期）の人 （例：急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期。衰弱しているとき。）● 骨粗しょう（鬆）症の人、せきつい（脊椎）の骨折、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人● 背骨（脊椎）に異常のある人、または背骨が左右に曲がっている人● 捻挫、肉離れなど炎症性の人● 椎間板ヘルニア症の人● その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
---	--


⚠ 警告


	<p>動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼する。感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。</p>
	<p>首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>リクライニングするときや脚部を出したり収納したり反転するとき、うしろや脚部の前、下など、周囲に人やペット、物がないことを確認する。事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。</p>
	<p>リクライニングするときや脚部を出したり収納したり反転するとき、下記のような本体の隙間に手、指、脚や頭を入れないようにする。 (1) 椅子の下側 (2) 背もたれ部と座部、肘掛部の隙間 (3) 脚部と座部、肘掛部の隙間 (4) 座部と肘掛部の隙間 (5) 脚部の下側、脚部の裏側 故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>肩位置の自動検出を行ったときは、必ず肩位置が合っているか確認する。 合っていないときは肩位置調節ボタンで合わせてください。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ご使用前には、必ず背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないかを確認する。(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。) カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>次の人は、使用しないでください。身体に異常が起こる場合があります。 ● 医師からマッサージを禁じられている人 (例：血栓 [そく (塞) 栓] 症、重度の動脈りゅう (瘤)、急性静脈りゅう (瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)</p>
	<p>背もたれ部のカバーが消耗等で少しでも破れたり、穴が開いたりした場合は、直ちに使用を中止する。故意にカバーを外したり、破いたり、切り取ったりはしない。</p>
	<p>背もたれ部のカバーを外したり破れた状態での使用は、衣服や髪が巻き込まれるおそれがあり大変危険なため、絶対にしない。</p>
	<p>交流 100V 以外の電源は、使用しない。火災・感電の原因になります。</p>
	<p>電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しない。電源コードや電源プラグが破損した場合、ご購入先または当社の「お客様相談窓口」に修理を依頼する。そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。</p>
	<p>電源コードを傷めない。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せない。特に移動中ははさみ込んだりしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
	<p>お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。感電やけがのおそれがあります。</p>
	<p>お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>浴室など湿気の多い場所で使ったり、保管しない。 感電・火災・故障・カビの原因になります。</p>
	<p>絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。</p>


安全上のご注意

注意

	<p>使用時間は1回15分以内に。また、同一箇所への連続しての使用は5分以内にする。 長時間のご使用は筋肉や神経を痛めることがあります。 ＜お願い＞1日の使用は30分以内にしてください。</p>
	<p>健康な方でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1) 加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人 (2) 骨や内臓に起因する腰痛の人 (3) 打ち身やねんざしやすい人 (4) 乗物酔いの激しい人 (5) 過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。</p>
	<p>本体は静かに設置する。床面に傷がつくおそれがあります。</p>
	<p>リモコンコードに足を引っ掛けないように気をつける。けがのおそれがあります。</p>
	<p>水平な場所で使用する。故障や事故の原因になります。</p>
	<p>操作ボタンやタイマーなどが正常に動作することを確認してから使用する。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本器が正常に動作することを確認してから使用する。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ご使用前に、本体(背もたれ部、脚部)に異物をはさまっていないか確認する。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>脚部が完全に固定されていることを確認してから、乗り降りする。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>もみ玉の位置を確認してから、ゆっくり座る。事故やけがの原因になります。</p>
	<p>使用しても効果が現れない場合、医師、または専門家に相談する。</p>
	<p>ご使用中に身体に異常があらわれたり感じたときには、直ちに使用を中止し、医師に相談する。</p>
	<p>本器の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し、医師に相談する。守らないと事故や体調不良のおそれがあります。</p>
	<p>ご使用後は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。 お子様のいたずらなどによる事故の原因になります。</p>

	<p>アースを確実に取り付ける。 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。</p>
	<p>停電のときは直ちに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。 再通電されたとき事故の原因になります。</p>

	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜く。 感電や、ショートして発火の原因になります。</p>
	<p>ご使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ほこりや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。</p>
	<p>お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。 感電やけがのおそれがあります。</p>

	<p>本体を倒したり、強い衝撃をあたえない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>電源プラグは確実に最後まで差し込み、ピンやゴミを付着させない。 感電・ショート・発火の原因になります。</p>
	<p>食後はすぐに使用しない。気分が悪くなる場合があります。</p>
	<p>飲酒後は使用しない。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>リモコンポケットには、リモコン以外の物は入れない。 リモコンが傷ついたり、布地が破れたりするおそれがあります。</p>

注意

ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。
また、ホットカーペット等の暖房器具の上で使わない。 火災の原因になります。

背もたれ部、肘掛部、座部の上に乗ったり、立ったり、物を載せたりしない。
利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。

脚部の上に座ったり、立ったり、物を載せたりしない。
利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。

リクライニングしているときは、脚部や座部の前の方に乗らない。
利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。

リクライニングしているときや、脚部が出ている状態で、無理に乗り降りしたりしない。
利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。

脚部を反転させるときは、脚部反転レバーと指定箇所以外の箇所を触らない。
けがのおそれがあります。

付属品以外は使用しない。 故障の原因になります。

マッサージするときは、リラックスクッション、腰当て（枕）を置いて使用しない。

マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。 けがのおそれがあります。

頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。 けがのおそれがあります。

もも・尻をマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたままにして使用しない。 事故やけがのおそれがあります。

素肌で使用しない。 素肌への直接のマッサージは皮膚を痛めることがあります。

ひじ、ひざ、頭部、腹部には使用しない。また、もみ玉部に手や足をはさまない。
体調不良やけがのおそれがあります。

マッサージ動作中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「OFF」にしない。
けがのおそれがあります。

ご使用中は眠らない。 無意識での使用は、体調不良やけがのおそれがあります。

脚部や椅子の下側に手や頭などを入れない。 事故やけがのおそれがあります。

本体に2人以上乗らない。 故障やけがのおそれがあります。

生地を無理に引っ張ったり、刃物やとがった物で突き刺したりしない。
故障やけがのおそれがあります。

脚部用布カバーの着脱の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う。
また、モミボードと本体樹脂部の間に手を入れない。 けがのおそれがあります。

脚部用布カバーを取りはずした状態や破れた状態では使用しない。
また、動作中に脚部用布カバーの着脱を行わない。 感電やけがのおそれがあります。

脚部用布カバーの下のカバーを取りはずさない。 感電やけがのおそれがあります。

ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、薬剤を含んだスプレーをかけない。
感電・引火の原因になります。

マッサージの目的以外には使用しない。 故障や事故の原因になります。

本器を使用しながら他の治療器を同時に使用しない。

人や物を乗せて移動しない。また、脚部を出したまま移動しない。 故障やけがのおそれがあります。

木床や畳など傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずって移動しない。床面に傷がつくおそれがあります。

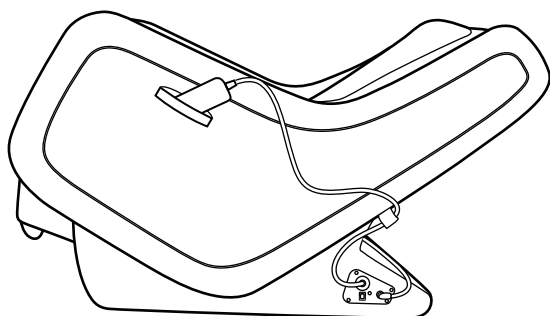
電源コードやリモコンコードを脚に引っ掛けたり、キャスターに巻き込まない。



ご使用前の準備

梱包箱から本体と付属品を取り出す

本体



取扱説明書などの書類

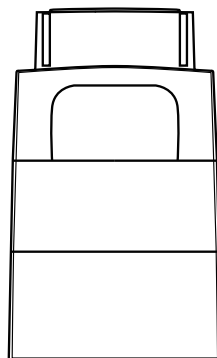
- ・取扱説明書
- ・搬入チラシ

お願い

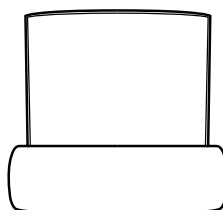
付属品は、専用になりますので同梱されている物をご使用ください。

付属品

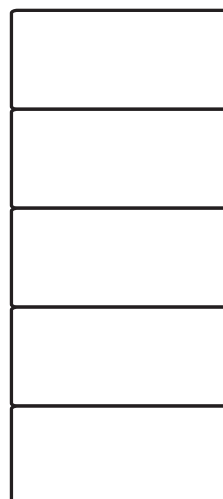
背パッド



枕



リラックスクッション



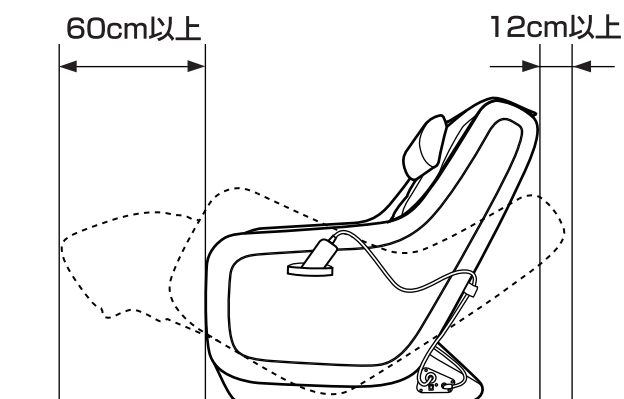
本体の設置のしかた

周囲にスペースをあけて、水平なところに設置します。

お願い リクライニングしたときや脚部を出したときに、周囲に当たらないようあらかじめ、前方向に60cm以上、後方向に12cm以上のスペースをあけてください。

お願い たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをおすすめします。

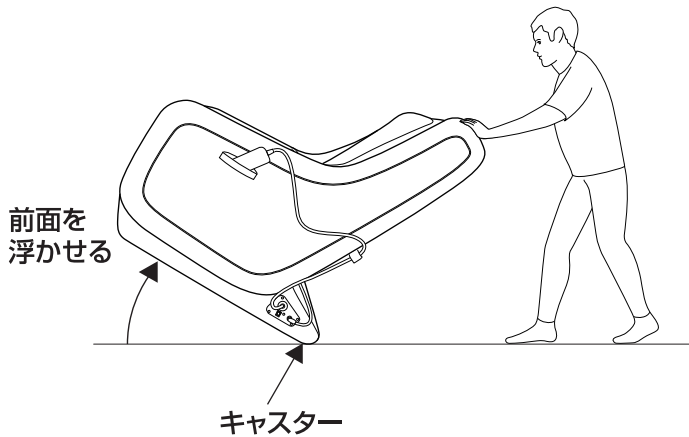
お願い 直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど、高温になるところへの設置は避けてください。本体や付属品が変色したり、変質するおそれがあります。



本体の移動のしかた

<1人で動かす場合>

- ・本体の前面を浮かし、押して移動します。

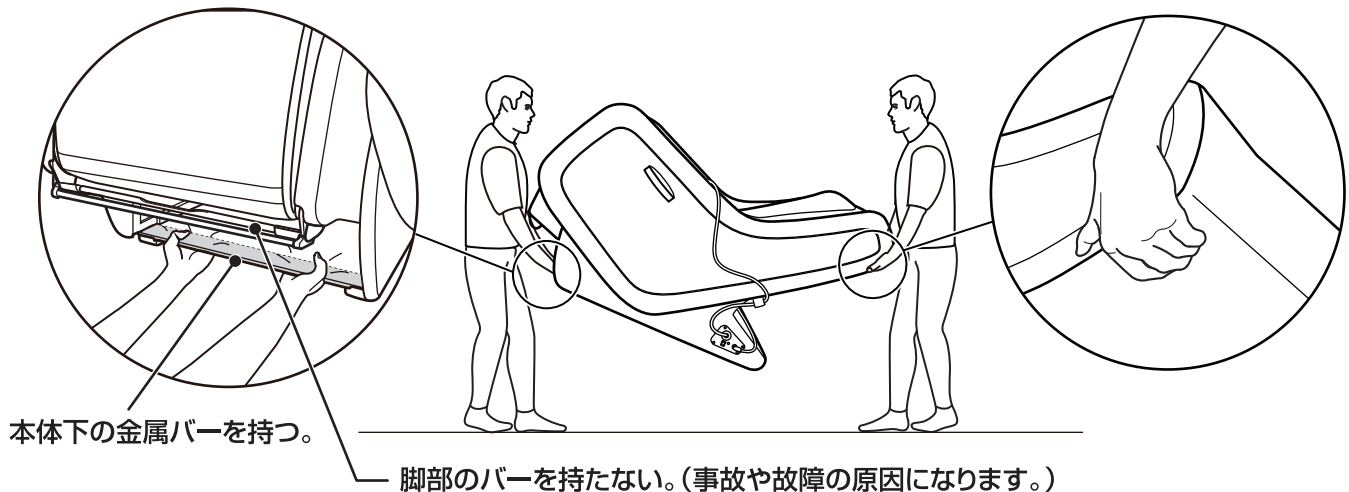


⚠ 注意

- ・人や物を乗せて移動しない。また、脚部を出したまま移動しない。故障やけがのおそれがあります。
- ・傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずっての移動をしない。
- ・前面を浮かせる際は重量があるので注意する。
- ・電源コードやリモコンコードを脚に引っ掛けたり、キャスターに巻き込まない。
- ・持ち上げて移動する場合は、必ず2人以上で行う。

<2人で動かす場合>

- ・本体下の金属バーと背もたれ部を持ち、移動します。



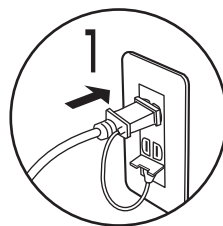
- ※脚部を持って持ち上げないでください。脚部が出てきたり、指を挟むおそれがあります。

ご使用前の準備

電源を入れる

1 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

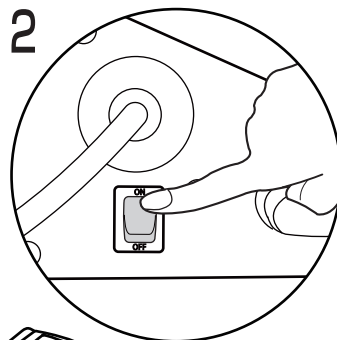
- 電源プラグにピンやゴミが付いていないか確認する。
- 電源コードやリモコンコード、電源プラグが傷んでいないか確認する。



2 電源スイッチを「ON」にします。

- 電源スイッチは本体左側の下部にあります。

2



⚠ 警告

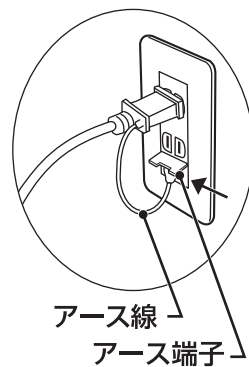
- 交流100V以外の電源は使用しない。
- 電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
電源コードや電源プラグが破損した場合、ご購入先または当社の「お客様相談窓口」に修理を依頼する。
そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。



アースについて

<電源コンセントにアース端子がある場合>

- アース線を電源コンセントのアース端子に取り付けてください。



<電源コンセントにアース端子がない場合>

- ご購入先・電気工事店に相談し、アース工事（D種〈第3種〉接地工事・有料）をしてください。

⚠ 注意

アースを確実に取り付ける。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



⚠ 警告

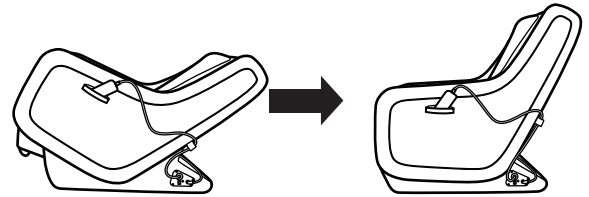
接続してはいけないところ

ガス管……爆発や引火の危険があります。
電話線や避雷針……落雷のとき危険です。
水道管……途中がプラスチックの場合はアースになりません。

背もたれ部を起こす

リモコンのリクライニングの  を
押して、背もたれ部を起こします。

※「リクライニングの使い方」(P14参照)に従って
操作を行ってください。



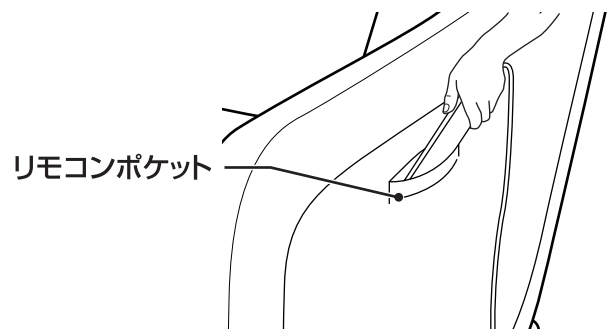
リモコンの収納のしかた

左側面にあるリモコンポケットへ、
リモコンを収納してください。

⚠ 注意

リモコンポケットには、リモコン以外の物は
入れないでください。

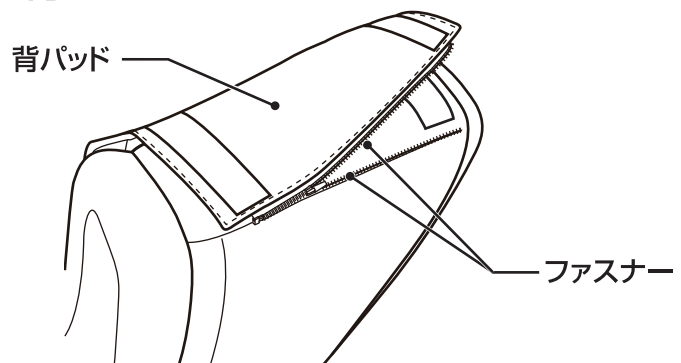
リモコンが傷ついたり、布地が破れたりするおそれ
があります。



背パッドの取り付け方

本体のファスナーに背パッドを取り付けます。

- マッサージを行うときは、背パッドを付けて、
お使いください。



⚠ 警告



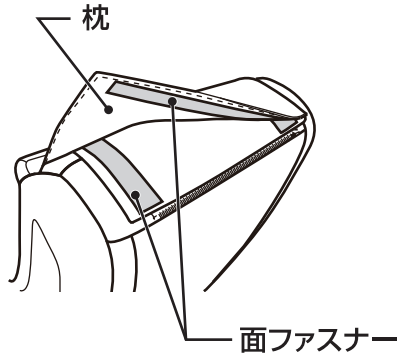
ご使用前には、必ず背パッドを上げて、背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、
そのほかの部分にも破れないか確認する。

(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
カバーが破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

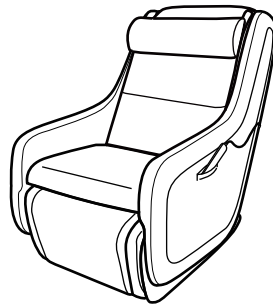
ご使用前の準備

枕の取り付け方

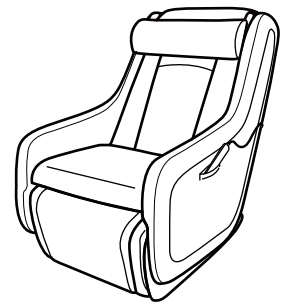
本体、または背パッドの面ファスナーに枕を取り付けます。
枕がお好みの位置にくるよう、取り付ける位置を調節してください。



<背パッドに取り付けた場合>



<本体に取り付けた場合>
(背パッドなし)

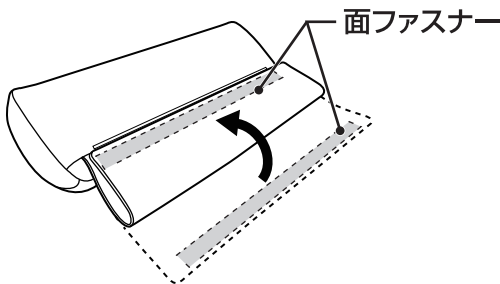


- マッサージを行うときは、枕を後ろに回してお使いください。
- マッサージが強く感じる場合や頭が沈み込む場合は、枕を付けてお使いください。
- マッサージを行わないときは、枕を腰当てとしても使用できます。

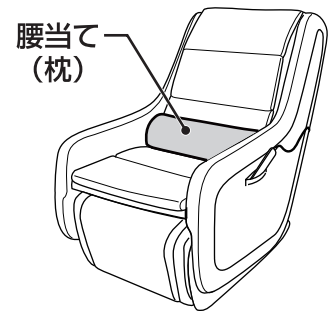
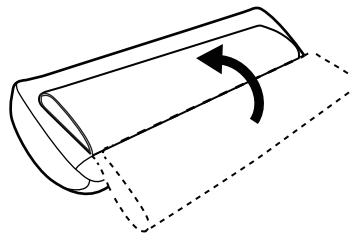
① 枕の面ファスナー同士を
付けるように折りたたんでください。

② 折りたたんだ部分を
さらに折りたたみます。

③ 座部に置いてください。



枕の裏面



! 注意



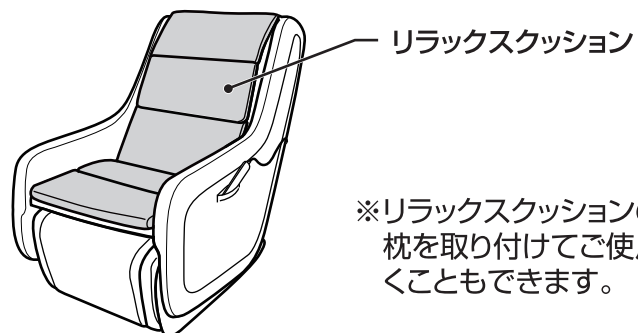
マッサージするときは、腰当て(枕)を置いて使用しない。

リラックスクッションの取り付け方

リラックスクッションは、背パッドの上に置きます。

1. 枕を後ろへ回します。

2. 背パッドの上にリラックスクッションを置きます。



※リラックスクッションの上から
枕を取り付けてご使用いただく
こともできます。

! 注意

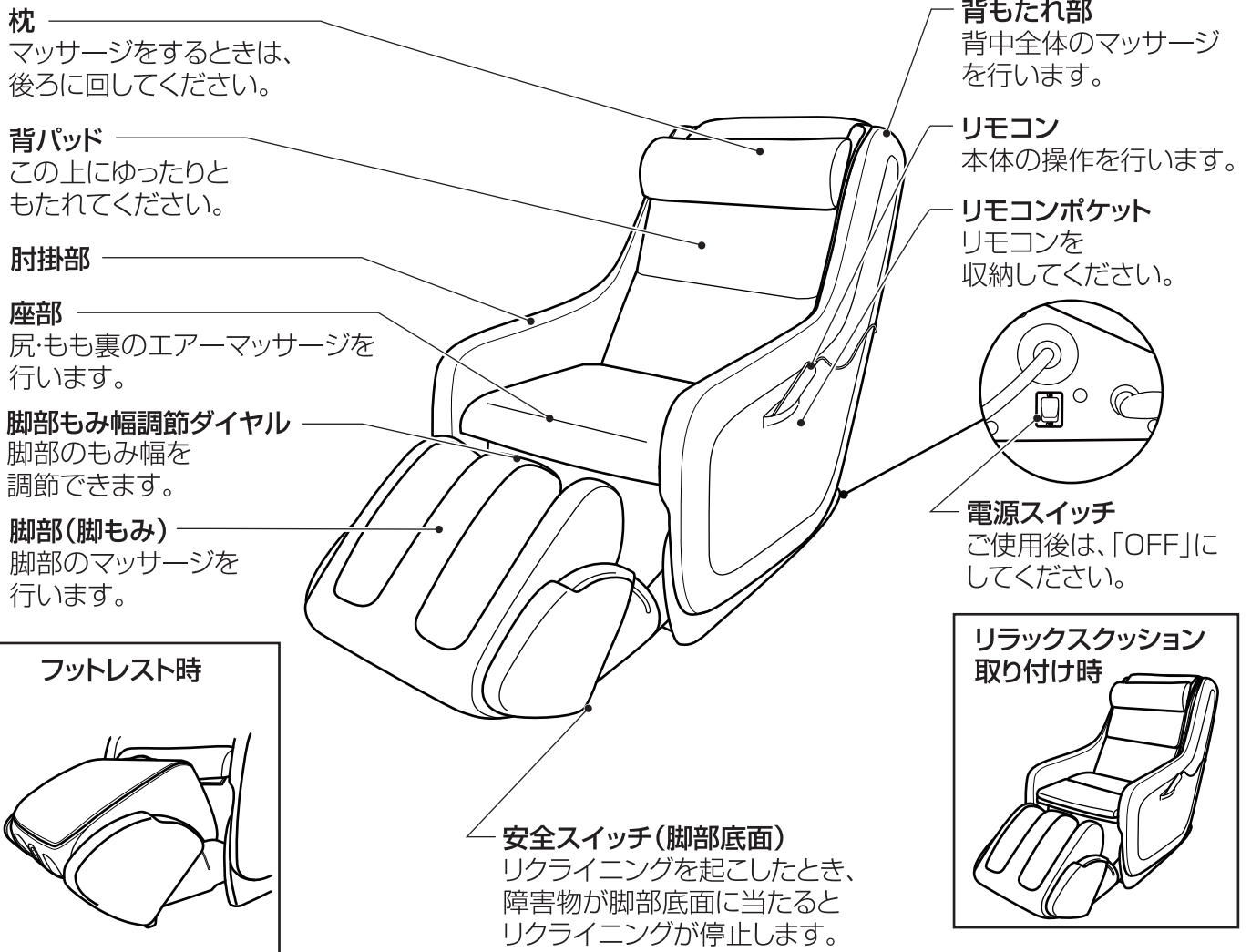


マッサージするときは、リラックスクッションを置いて
使用しない。

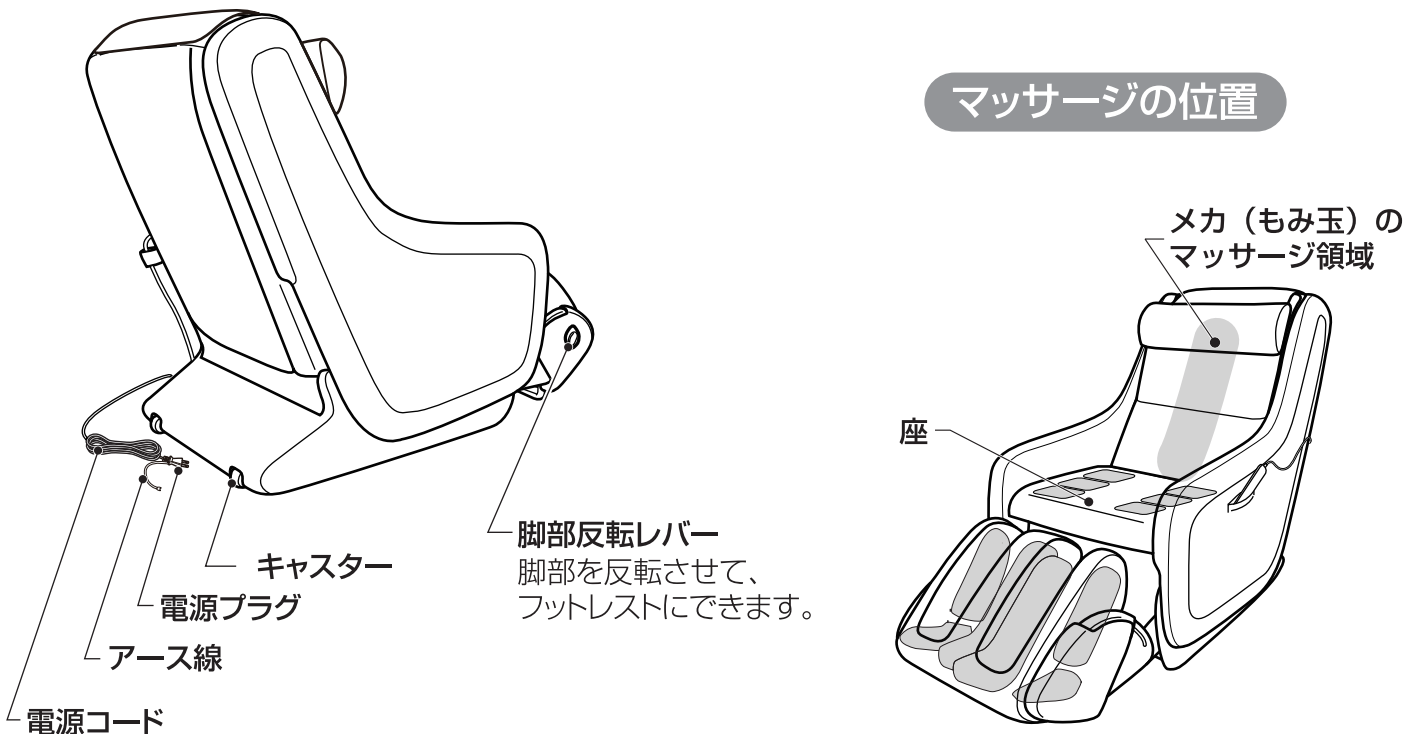
各部のなまえとはたらき

つづく

本体



マッサージの位置



各部のなまえとはたらき

リモコン

主電源ランプ

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にすると点灯します。

「終了」ボタン

マッサージ動作を終了し、もみ玉の収納動作を行います。

リクライニング

「起きる」

「倒れる」ボタン

背もたれ部のリクライニング角度の調整を行います。

脚部

「出る」

「収納」ボタン

脚部を出したり、収納するとき 사용합니다。

「肩強さ」ボタン

肩のマッサージ強さの調節を行います。

「肩位置」ボタン

肩位置の高さ調節を行います。

「幅調節」ボタン

もみ玉の幅を調節します。

「脚部」ボタン

脚部のマッサージの「入/切」およびもみ速さの調節を行います。

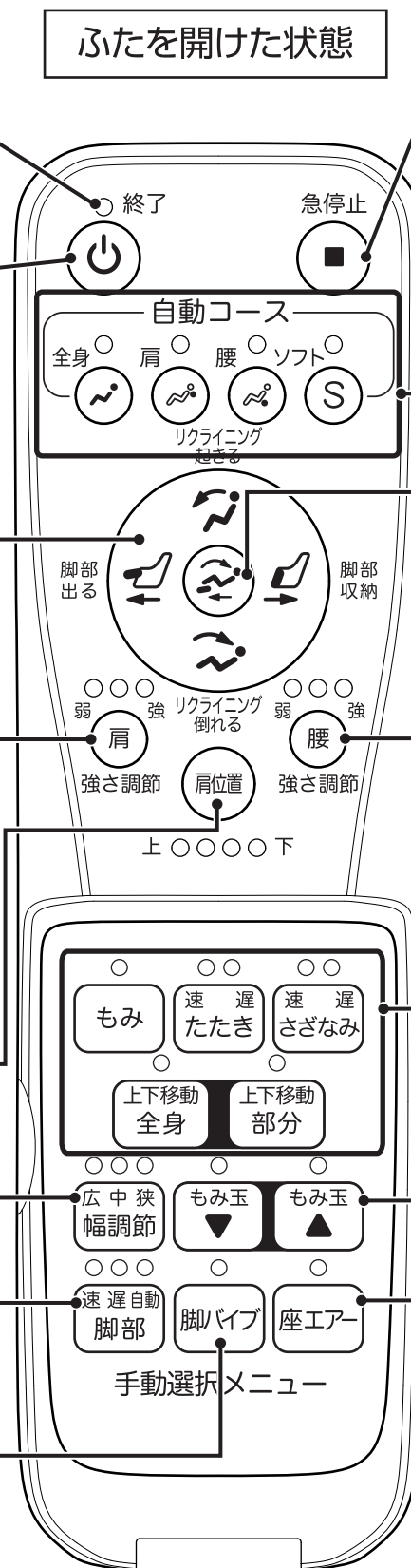
「脚バンプ」ボタン

脚部のバンプの「入/切」を行います。

<タイマー機能>

マッサージは、動作開始から約15分間で自動的に終了します。

ふたを開けた状態



「急停止」ボタン

全ての動作を停止します。(すぐにマッサージを停止したいときに押してください。)

「自動コース」ボタン

「全身」「肩」「腰」「ソフト」の4種類からマッサージを選択できます。

「フロートポジション」ボタン

脚部が出た後、背もたれ部が倒れます。

「腰強さ」ボタン

腰のマッサージ強さの調節を行います。

「手動マッサージ」ボタン

「もみ」「たたき」「さざなみ」「全身」「部分」の5種類からマッサージを選択できます。

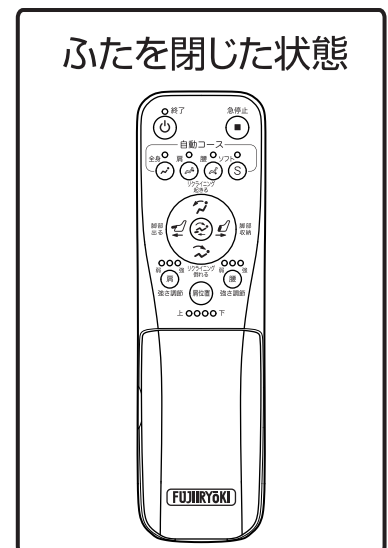
「もみ玉上下」ボタン

もみ玉の位置調節を行います。

「座エア」ボタン

座部のエアーマッサージの「入/切」を行います。

ふたを閉じた状態



毎回マッサージをはじめる前に

電源を入れる

1 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

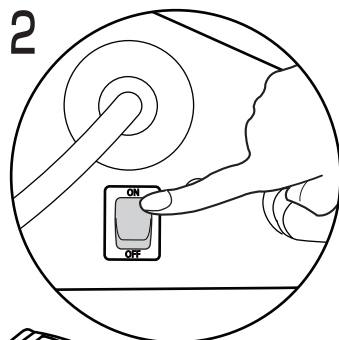
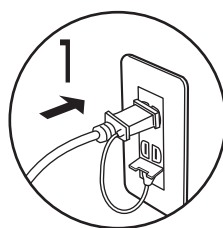
- 電源プラグにピンやゴミが付いていないか確認する。
- 電源コードやリモコンコード、電源プラグが傷んでいないか確認する。

2 電源スイッチを「ON」にします。

- 電源スイッチは本体左側の下部にあります。

⚠ 警告

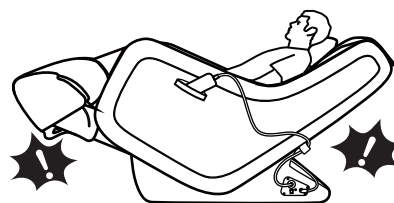
- 交流100V以外の電源は使用しない。
- 電源コードや電源プラグが破損したり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
電源コードや電源プラグが破損した場合、ご購入先または当社の「お客様相談窓口」に修理を依頼する。
そのまま使い続けると感電やショート、火災の原因になります。



確認する内容

1 周囲を必ず確認してください。

本体の後ろや脚部の前、下など、周囲に人やペットがいないこと、物が無いことを確認する。



2 本体を確認します。

- ① 枕・背パッドを上げて背もたれ部のカバーが破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。

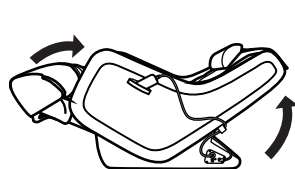
※小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。



- ③ 座る前に背もたれ部と脚部の状態を確認する。

- 背もたれ部が倒れた状態や脚部が出た状態で、無理に座ろうとすると、けがをするおそれがあります。

👉 を長押しして脚部を収納し、👈 を長押しして背もたれ部を起してください。



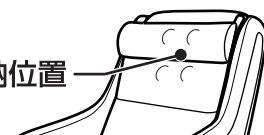
- ④ 座る前にもみ玉の位置を確認する。

- もみ玉は通常、収納位置（背もたれの最上部）にあります。
- もみ玉が収納位置にない場合 (🔘) を押すと最上部まで移動します。



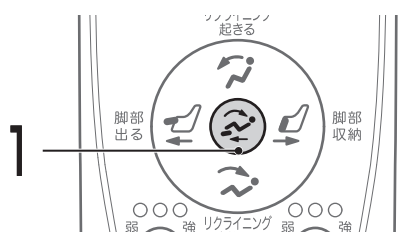
- ② ご使用の前に、本体（背もたれ部、脚部）に異物をはさまっていないか確認する。

収納位置

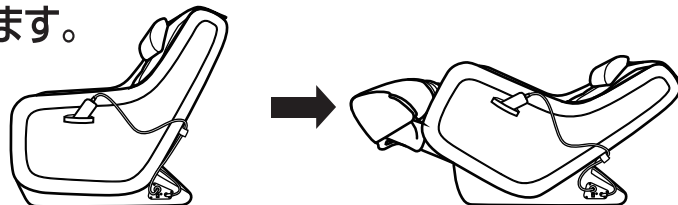


各部の使い方

フロートポジションボタンの使い方

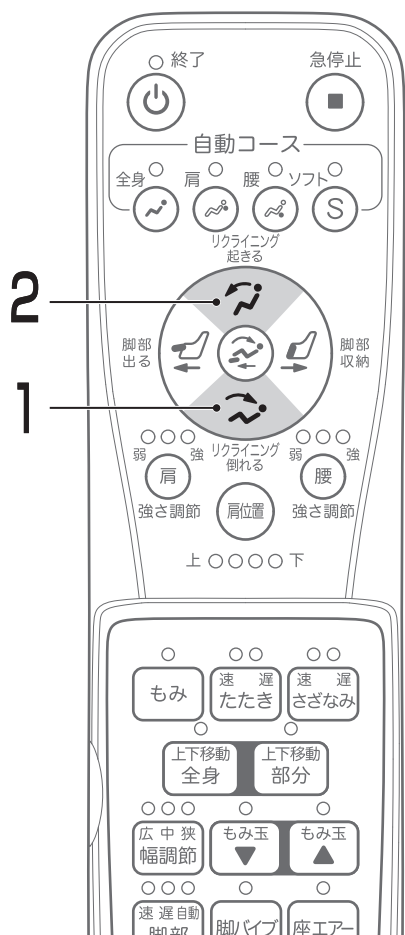


1 ④ を押すと、脚部が出た後、背もたれが完全に倒れます。



リクライニングの使い方

お願い マッサージ中にリクライニングするときは、マッサージの強さを確認しながら徐々に倒してください。マッサージ中にリクライニングするときは、マッサージを一旦停止します。

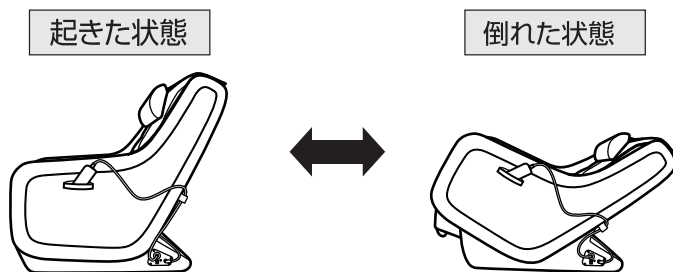


1 背もたれ部を倒すときは、リクライニングの ④ を押します。お好みの角度でリクライニングの ④ から手を離します。完全に倒れると”ピッピッ”音が鳴ります。

- 押し続けると背もたれ部が倒れます。
- 深く倒すほど、もみ玉の刺激が強くなります。

2 背もたれ部を起こすときは、リクライニングの ⑤ を押します。お好みの角度でリクライニングの ⑤ から手を離します。完全に起きると”ピッピッ”音が鳴ります。

- 押し続けると背もたれ部が起きます。



警告

リクライニングするときや脚部を出したり収納するときは、うしろや脚部の前、下など、周囲に人やペット、物がないことを確認する。

事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。



注意

背もたれ部、肘掛部、座部の上に乗ったり、立ったり、物を載せたりしない。

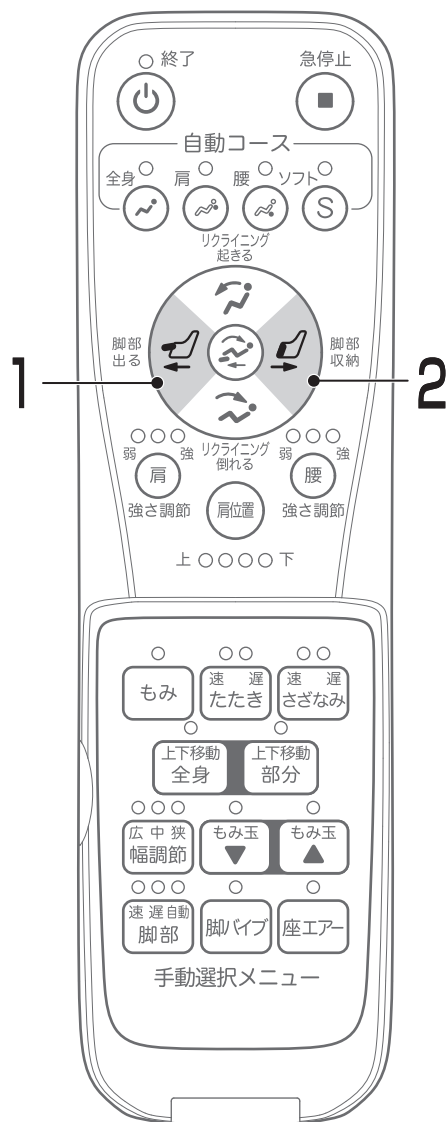
利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。







脚部の使い方

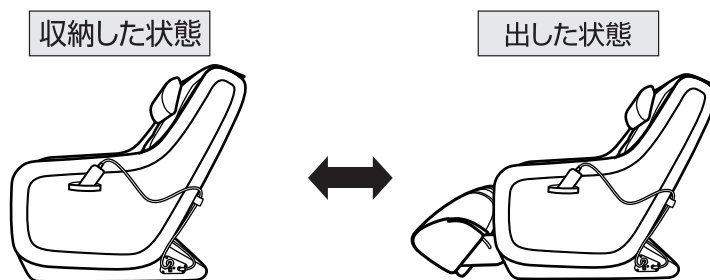
はじめに

- 脚部を出したり、収納するときは、背もたれ部が完全に起きた状態か倒れた状態で行ってください。



- 1 脚部を使用するときは、脚部の  を押します。
完全に脚部が出るまで  を長押ししてください。
完全に出ると”ピッピッ”音が鳴ります。
※脚部が完全に出るまで脚部マッサージは始まりません。

- 2 脚部を収納するときは、脚部の  を押します。
完全に脚部が収納するまで  を長押ししてください。
完全に収納すると”ピッピッ”音が鳴ります。
※脚部がフットレストのときは、収納できません。
脚もみの状態に戻してください。(P16参照)
※収納するときは、必ず脚部から脚を出してください。



⚠ 注意

ご使用の前に、脚部に異物がはさまっていないか確認する。
事故やけがのおそれがあります。



注意

脚部を出した状態でリクライニングを起こしたとき、障害物等が脚部底面に当たると安全スイッチが働き、リクライニングが停止します。安全スイッチが働いた原因を取り除いてから再度操作してください。



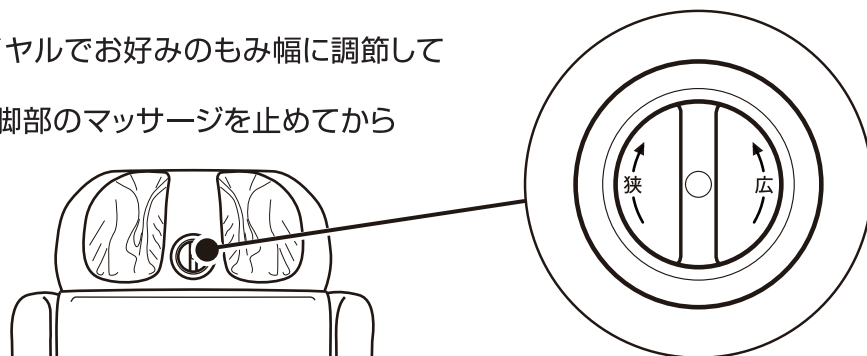
各部の使い方

脚部もみ幅の調節のしかた

- 1 脚部のもみ幅は、脚部にある脚部もみ幅調節ダイヤルで調節することができます。

脚部もみ幅調節ダイヤルでお好みのもみ幅に調節してください。

※もみ幅の調節は、脚部のマッサージを止めてから行ってください。



フットレストの使い方

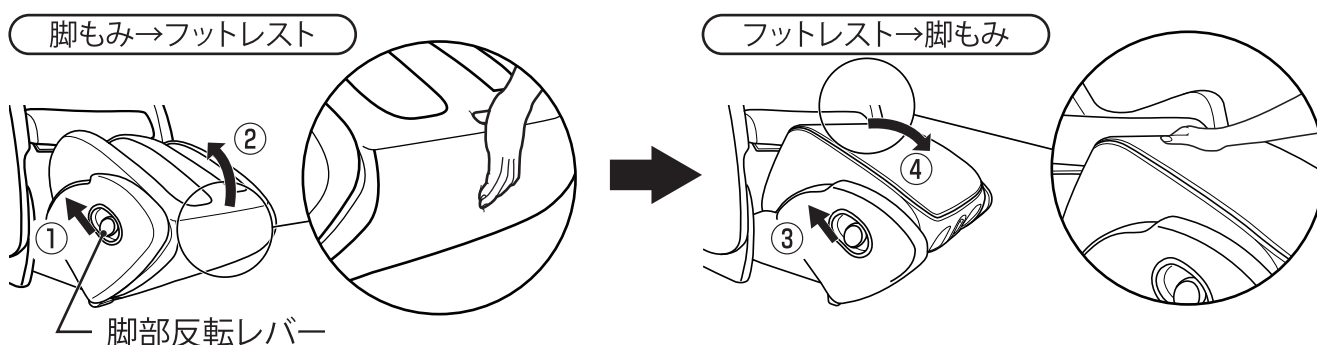
- 1 足を長押しして、脚部を完全に出します。

2 脚もみ→フットレストへの反転方法

脚部反転レバーを上引きしながら①、脚部の下部を持って反転させてください②。固定されると“カチッ”と鳴ります。

フットレスト→脚もみへの反転方法

脚部反転レバーを上引きしながら③、脚部の上部を持って反転させてください④。固定されると“カチッ”と鳴ります。



- 3 脚部が完全に固定されていることを確認してからご使用ください。

※脚部がフットレストのときは、足を押ししても収納できません。

⚠ 注意

- 脚部を反転させるときは、脚部反転レバーと指定箇所以外の箇所を触らない。けがのおそれがあります。
- 脚部の上に座ったり、立ったり、物を載せたりしない。利用者や本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。
- 脚部が完全に固定されていることを確認してから、乗り降りする。脚部の先端部分が回転して、事故やけがのおそれがあります。



⚠ 警告

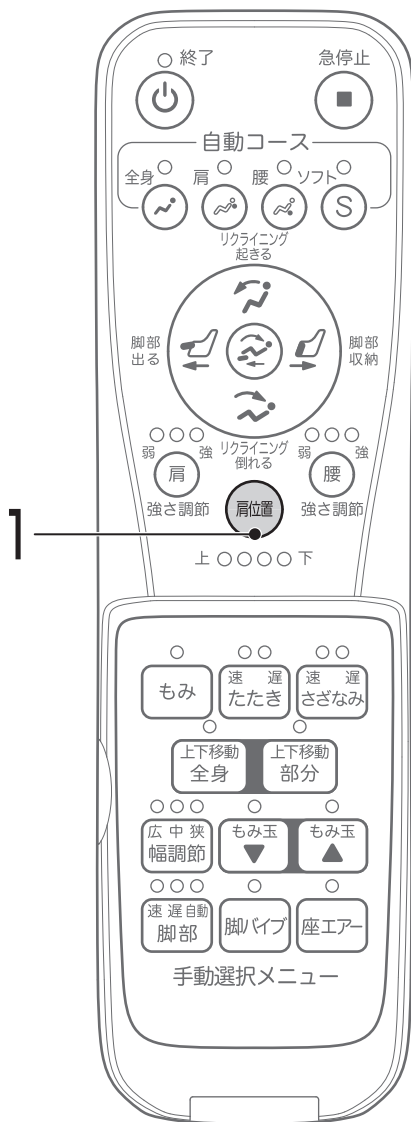
脚部と座部、肘掛部の隙間や脚部の裏側に手、指、脚や頭を入れない。けがのおそれがあります。



肩位置の調節のしかた

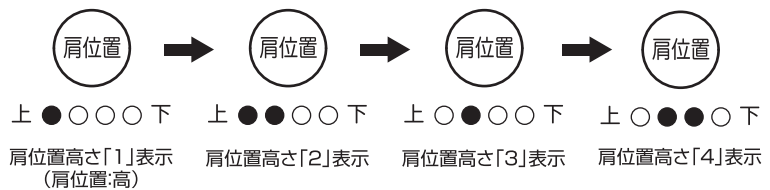
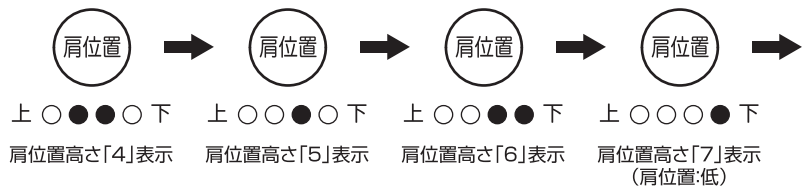
はじめに

- 椅子に腰をかけて、頭を背もたれ部につけるようにゆったりともたれてください。
- リクライニング角度を調節してください。(P14 参照)



1 肩位置 を押し、お好みの肩位置を調節します。

- 肩位置 を押すごとにもみ玉の位置が変わります。
- 肩位置高さは、あらかじめ「4」に設定されています。
- 調節中は、ランプが点滅しています。



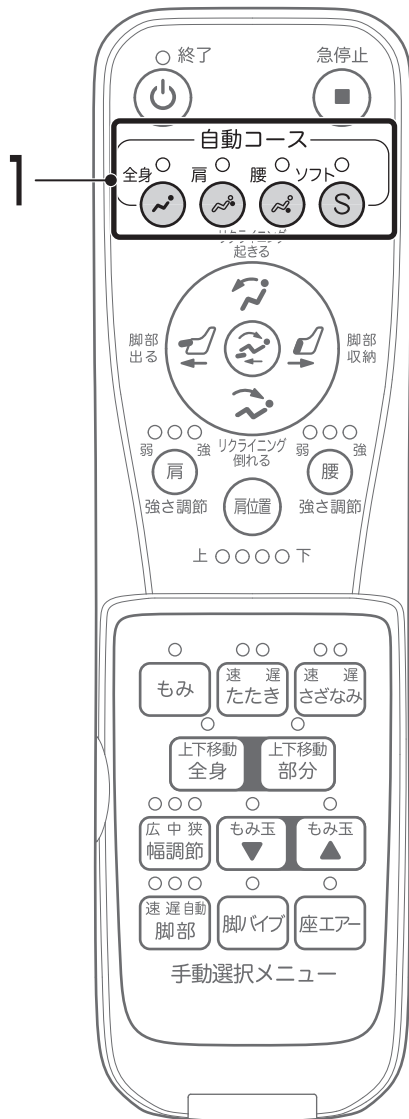
肩位置のランプ

肩位置高さ		ランプの点灯			
高 ↑ ↓ 低	1	●	○	○	○
	2	●	●	○	○
	3	○	●	○	○
	4	○	●	●	○
	5	○	○	●	○
	6	○	○	●	●
	7	○	○	○	●

自動コースの使い方

はじめに

- 椅子に腰をかけて、頭を背もたれ部につけるようにゆったりともたれてください。
- リクライニング角度を調節してください。(P14 参照)
- 脚部マッサージを行うときは、脚部を出してください。(P15 参照)



- 1 全身 肩 腰 ソフト (S) から好みのコースを選択し、押してください。

自動コースの種類

- 全身 背中全体のコリや疲れをやわらげるもみ・たたきを中心としたコースです。
- 肩 首や肩のコリや疲れをやわらげるもみ・たたきを中心としたコースです。
- 腰 腰のコリや疲れをやわらげるもみ・たたきを中心としたコースです。
- ソフト (S) ゆったりとしたソフトマッサージコースです。

- 自動コースでは脚部マッサージ、脚バイブ、座エアが「入」になっています。動作を「切」にしたいときは、「自動コース動作中の調節のしかた」をご確認ください。(P20 参照)

2 肩位置の自動検出を行います。

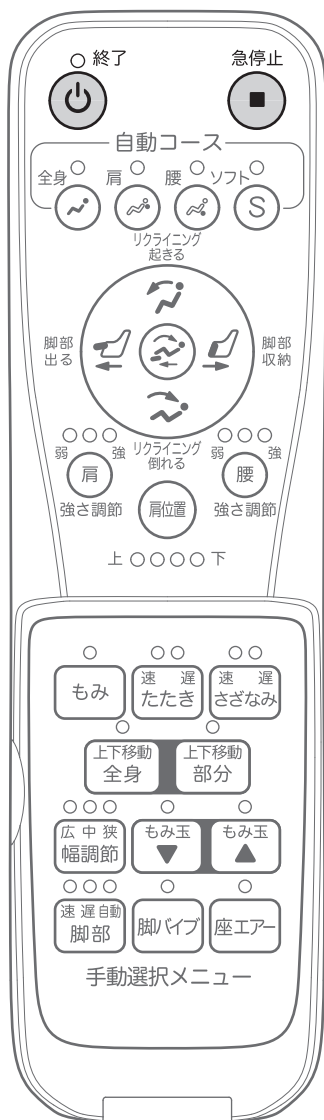
- 自動検出中は、頭を背もたれ部につけるようにもたれてください。
- 自動検出中は、肩位置のランプが点滅しています。検索が終了したら、肩位置付近のランプが点灯します。
- 自動検出後に、肩位置を調節する場合は、「肩位置の調節のしかた」を確認してください。(P17 参照)

3 マッサージを開始します。

4 マッサージが終了すると自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。

5 ご使用後は、電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- リモコンの誤動作によって動き出すことを防止します。



⚠ 注意

- ご使用後は電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
お子様のいたずらなどによる事故の原因になります。

ただちにマッサージを停止する場合

急停止

■ を押してください。

- もみ玉は現在の位置で停止します。
- 脚部のもみ幅は、開いた状態で停止します。

ただちにマッサージを終了する場合

○ 終了

⏻ を押してください。

- もみ玉は収納位置まで移動します。
- 脚部のもみ幅は、開いた状態で停止します。

自動コース動作中の調節のしかた

肩のマッサージ強さを調節したいとき

肩 でお好みの強さに調節します。

- ボタンを押すごとに「中」→「強」→「弱」と順に切り替わります。



腰のマッサージ強さを調節したいとき

腰 でお好みの強さに調節します。

- ボタンを押すごとに「中」→「強」→「弱」と順に切り替わります。



座エアーを「入/切」したいとき

座エアー を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚バイブを「入/切」したいとき

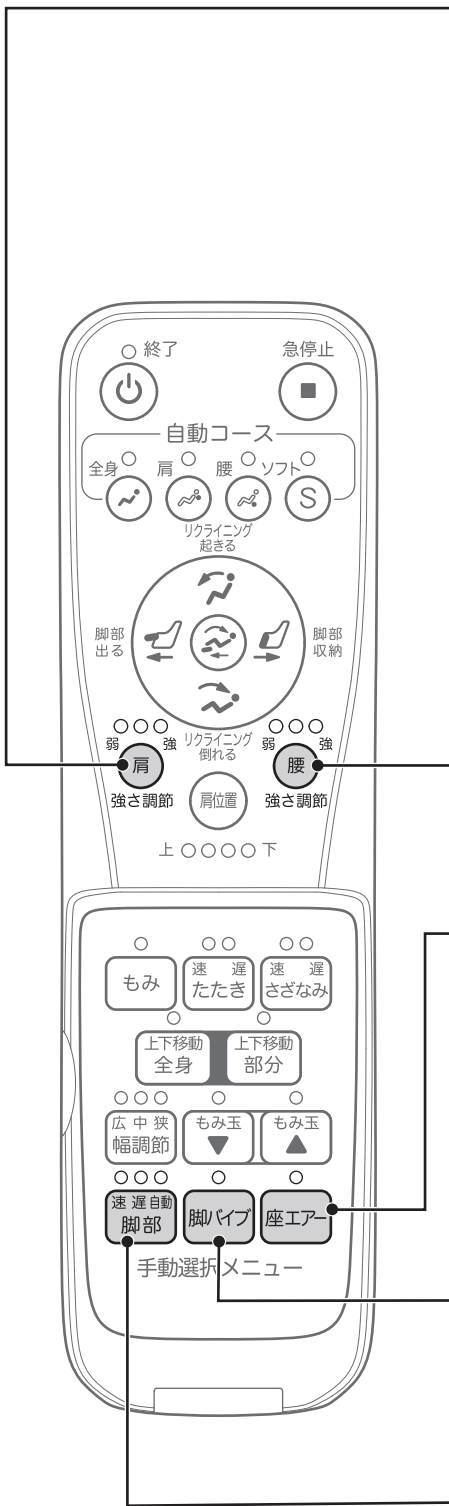
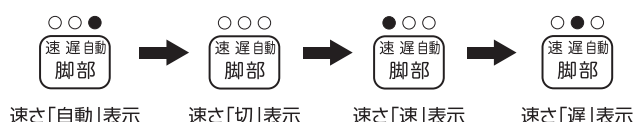
脚バイブ を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚部マッサージを「入/切」したいとき

速遅自動脚部 を押します。

- ボタンを押すごとに「自動」→「切」→「速」→「遅」と順に切り替わります。
- 脚部マッサージのもみ速さは、あらかじめ「自動」に設定されています。

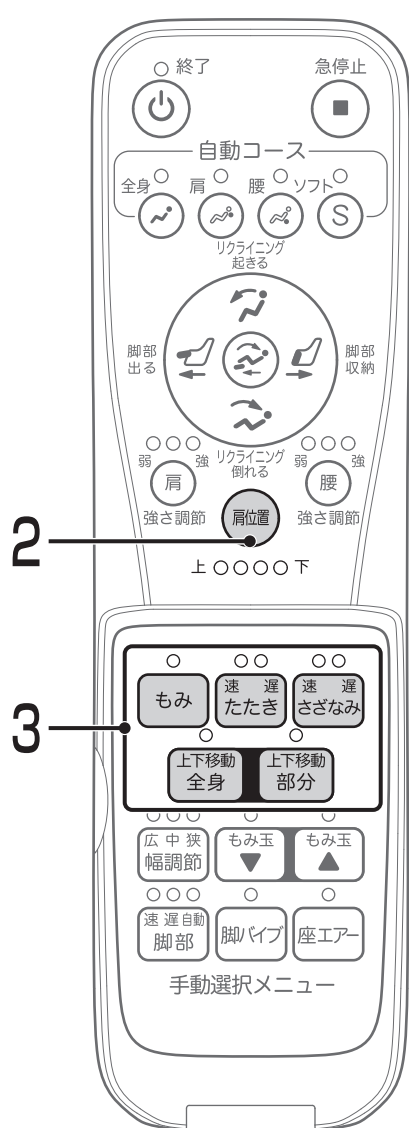


手動マッサージの使い方

つづく

はじめに

- 椅子に腰をかけて、頭を背もたれ部につけるようにゆったりともたれてください。
- リクライニング角度を調節してください。（P14 参照）
- 脚マッサージを行うときは、脚部を出してください。（P15 参照）



1 リモコンのふたを開けます。

2 肩位置の調節を行います。

- 「肩位置の調節のしかた」を確認してください。（P17参照）

3 手動選択メニューの から好みのマッサージを選択し、押します。

- 「もみ」 ボタンを押すごとに「入」→「切」が切り替わります。



- 「たたき」 ボタンを押すごとに「速」→「遅」→「切」と順に切り替わります。



- 「さざなみ」 ボタンを押すごとに「速」→「遅」→「切」と順に切り替わります。



- 「全身」 ボタンを押すごとに「入」→「切」が切り替わります。



- 「部分」 ボタンを押すごとに「入」→「切」が切り替わります。



手動マッサージの使い方

マッサージの種類

●
もみ

筋肉をもみほぐします。

●●
速 遅
たたき

リズムカルな連打で筋肉の疲れをとります。

●●
速 遅
さざなみ

もみながらたたく動きで疲労を和らげます。

単独で選択すると、ポイントでマッサージします。

●
上下移動
全身

背筋に沿って背中全体を伸ばします。

●
上下移動
部分

背中を部分的に伸ばします。

「もみ」「たたき」「さざなみ」と複合すると、マッサージの範囲を選択できます。

マッサージの組み合わせと調節

マッサージの 組み合わせ		もみ玉	
		幅調節	位置調節
単 独 動 作	● もみ		●
	●● 速 遅 たたき	●	●
	●● 速 遅 さざなみ		●
	● 上下移動 全身	●	
	● 上下移動 部分	●	●
複 合 動 作	● もみ + ● 上下移動 全身		
	●● 速 遅 たたき + ● 上下移動 全身	●	
	●● 速 遅 さざなみ + ● 上下移動 全身		
	● もみ + ● 上下移動 部分		●
	●● 速 遅 たたき + ● 上下移動 部分	●	●
	●● 速 遅 さざなみ + ● 上下移動 部分		●

もみ玉の幅を調節したいとき

幅調節 を押します。

- ボタンを押すごとに「広」→「中」→「狭」と順に切り替わります。
- もみ玉の幅は、あらかじめ「広」に設定されています。



- 調節できるのは、「たたき」「全身」「部分」を選択しているときのみです。

もみ玉の位置を調節したいとき

もみ玉 または **もみ玉** を長押しします。
お好みの位置で手を離します。

- **もみ玉** を押すともみ玉が上へ、**もみ玉** を押すともみ玉が下へ移動します。
- 調節できるのは、単独動作、または「部分」を選択しているときのみです。

座アアを「入/切」したいとき

座アア を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚バィブを「入/切」したいとき

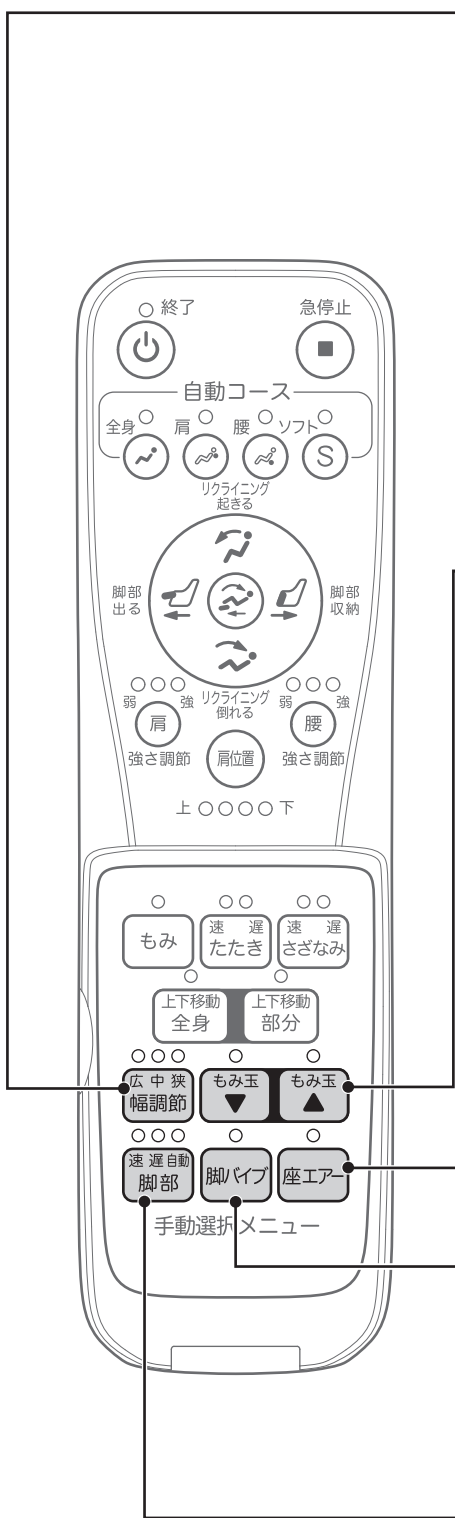
脚バィブ を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

脚部マッサーヅを「入/切」したいとき

速遅自動脚部 を押します。

- ボタンを押すごとに「速」→「遅」→「自動」→「切」と順に切り替わります。
- 脚部マッサーヅのもみ速さは、あらかじめ「速」に設定されています。

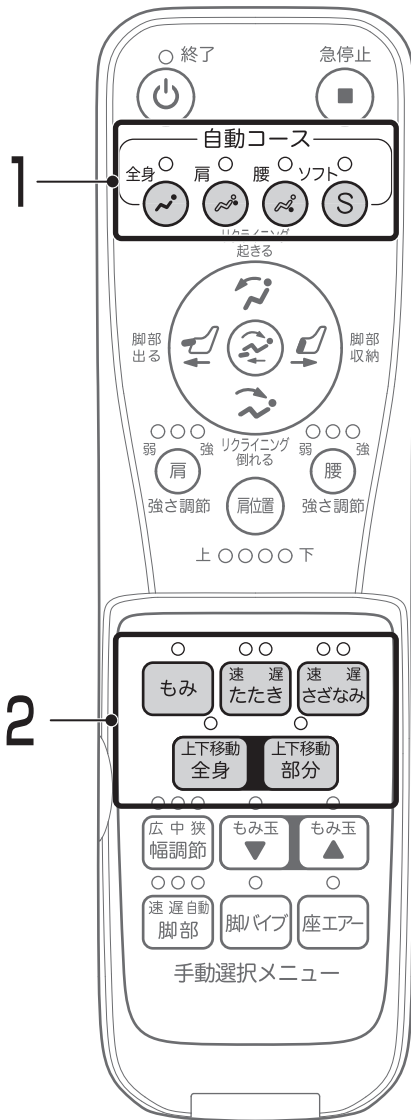


途中でマッサージを変更するときは

- マッサージ動作中でも、ほかの動作に切り替えることができます。

自動コース ▶ ほかの自動コースへの変更

手動マッサージ ▶ 各自動コースへの変更



1 使用したい自動コースのボタンを押します。

- 選択された自動コースに変更されて動作します。
詳細は、「自動コースの使い方」をご確認ください。
(P18 参照)
- タイマーのカウントは継続されます。

自動コース ▶ 各手動マッサージへの変更

手動マッサージ ▶ ほかの手動マッサージへの変更

2 使用したい手動マッサージを選択します。

- 選択された手動マッサージに変更されて動作します。
詳細は、「手動マッサージの使い方」をご確認ください。
(P21 参照)
- タイマーのカウントは継続されます。

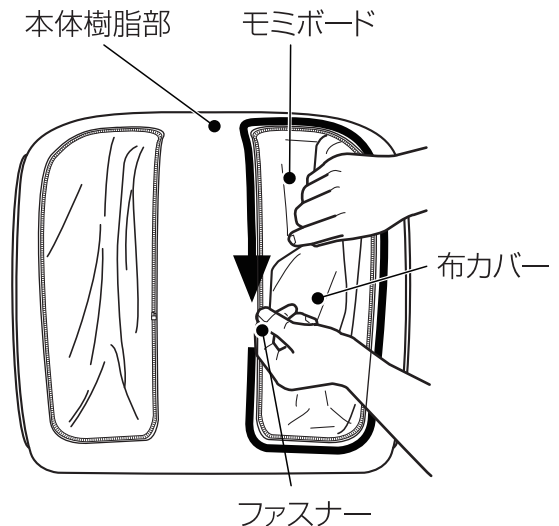
脚部用布カバーのお手入れ方法

ぬるま湯にて手洗いしてください。

お願い 色落ちすることがありますので、他の物との洗濯はおさげください。

布カバーの取りはずしかた

- 1 本体の電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 布カバーのファスナーの引き手部を指でつまみファスナーを開けてください。
- 3 ファスナーが完全にはずれたことを確認し、布カバーを取りはずします。



布カバーの取り付けかた

- 1 本体の電源スイッチを「OFF」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 布カバーのファスナーの引き手部に、本体のファスナー取り付け部を差し込み、ファスナーを最後まで閉めます。
- 3 布カバーの先を脚部の奥まで差し込みます。



※布カバーは開口部の形状に合わせて、左用と右用があります。それぞれ、ファスナー取り付け部が本体の中央側にあります。

⚠ 注意

- 布カバーの着脱の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行う。また、モミボードと本体樹脂部の間に手を入れない。けがのおそれがあります。
- 布カバーを取りはずした状態や破れた状態では使用しない。また、動作中に布カバーの着脱を行わない。感電やけがのおそれがあります。
- 布カバーの下のカバーを取りはずさない。感電やけがのおそれがあります。

お手入れと保管のしかた

本体：張地（ポリエステル）

お願い 張地部分のお手入れは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふいた後、水を含ませて固く絞った布でふき取り、乾いた布でふいてから自然乾燥させてください。（使い過ぎると張地を傷めることがあります。）

お願い 本体は清潔にし、温度・湿気・ほこりなどの悪影響が少ないところに保管してください。

⚠ 注意

- お手入れの際は必ず電源コードの電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。感電やけがのおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、薬剤を含んだスプレーをかけない。感電・引火の原因になります。



樹脂部

樹脂部の汚れは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。

注意

ベンジン・シンナー・アルコール、その他の溶剤やみがき粉などは使用しない。キズ、変色、ひび割れの原因になります。



リモコン

リモコンの汚れは、乾いた布でふき取ってください。

注意

絶対に濡れたタオルなどでふかない。故障の原因になります。



背パッド・枕・座・リラックスクッション その他の布地

汚れが付いたときは、水に薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布でふいた後、水を含ませて固く絞った布でふき取り、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。

注意

- アイロンがけはしない。生地を傷めるおそれがあります。
- ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、薬剤を含んだスプレーをかけない。生地を傷めるおそれがあります。



保管のしかた

汚れやほこりを取った後、湿気の少ない所に保管してください。

長い間で使用にならないときは、カバーなどをかけてほこりが付かないようにしてください。

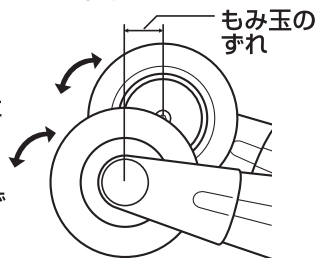
注意

直射日光が長時間当たる所、ストーブなどの近くの高温になる所には保管しないでください。変色・変質の原因になります。



Q1 左右の強さが異なる。また、段違いに感じる。

A より気持ちよくマッサージするために、もみ玉が交互にたたく機構を採用している関係で、やむをえずもみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じるがありますが、故障ではありません。



Q2 マッサージをより強くする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背もたれ部を倒す。
- 深く腰かけ、体をしっかりと背もたれ部に密着させる。
- 背パッドを外す。

Q3 マッサージを弱くする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背もたれ部を起す。
- 背パッド・枕をつける。
- 背もたれ部にひざ掛けや毛布などを掛ける。

Q4 病院に通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師とご相談のうえ、使用してください。マッサージは、「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。

Q5 1ヶ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分（15分×2回）で毎日使用した場合で約40円/月です。（税込み）
（2011年12月現在、当社調べ）

Q6 ホットカーペットを椅子の下に敷いてもいいですか？

A 火災のおそれがあるので、おやめください。ホットカーペットの発熱体を痛め、そこから火災になるおそれがあります。

Q7 肩位置の自動検出をしても肩位置が合わないのですが？

A 自動検出後の肩位置が合わない場合は、肩位置調節してください。（P17参照）
※手動マッサージでは、肩位置の自動検出は行いません。

Q8 身長が約150cm未満の人や、約185cm以上の人には使えないのですか？

A お使いいただけます。身長によって脚部がフィットしない場合や肩位置が合わない場合がありますので、以下の方法を参考に、背部もしくは脚部のどちらかを優先して、ご使用ください。

- 背部マッサージを優先する場合
脚部を反転させてフットレストの状態、背部マッサージを優先してご使用ください。また、身長の低い方で肩位置が合わない場合は座部にクッションなどをおくことをお勧めします。
※その際座部のエアーマッサージの体感は弱くなります。
- 脚部マッサージを優先する場合
背もたれ部を起こして、脚部を優先してご使用ください。

Q9 脚部を出したり、収納したりできないのですか？

A 次のことを確認してください。

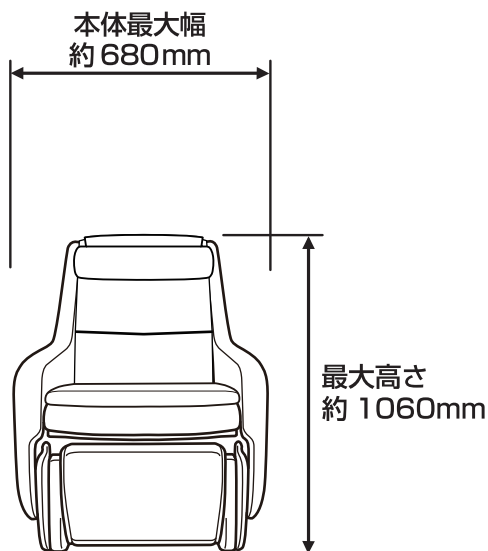
- 脚部は、背もたれ部が完全に起きた状態、または倒れた状態でしか出したり、収納したりできません。背もたれ部を完全に起きた状態、または倒れた状態にしてください。（P14参照）
- 脚部がフットレストの状態では、収納できません。脚もみの状態に戻してから、収納してください。（P16参照）

Q&A

Q10 本体の寸法を教えてください。

A 下記の図をご参照ください。

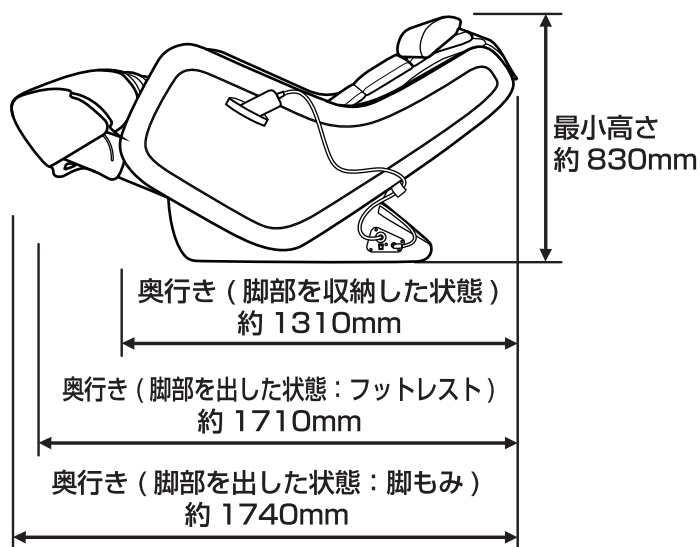
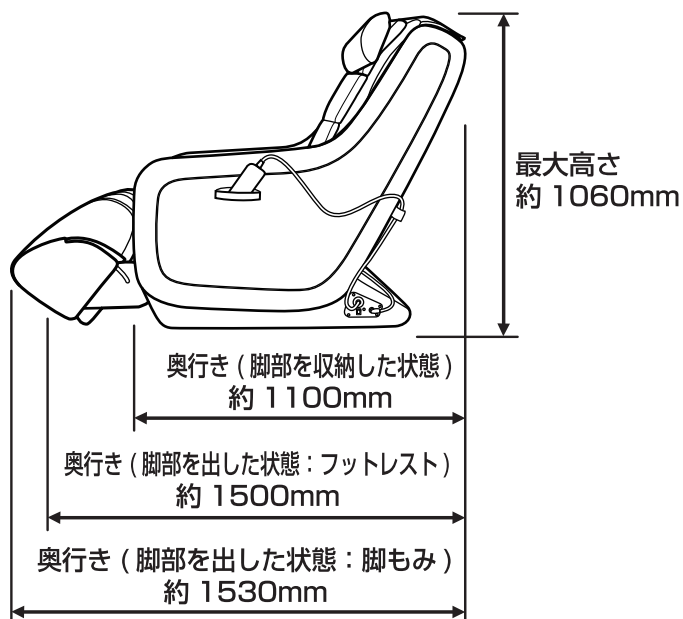
正面



側面

リクライニングしていないとき
(リラックスクッションを取り付けたとき)

リクライニングしているとき
(リラックスクッションを取り付けたとき)



ご使用中に下記のような音や感覚がありますが、構造上のもので異常ではなく寿命などに影響はありません。

- もみ玉上下移動時のカタカタ音
- 「速さ」調節による音の違い
- マッサージ作動時のギア・モーターの音
- もみ玉と布のすれる音（特に、もみ動作時）
- たたき、さざなみ動作時のガタガタ音
- もみ、たたき、さざなみ動作時に、もみ玉への力の加わり方によっては、マッサージ動作スピードが変わる場合があります。
- 負荷をかけた時のモーターのうなり音
- エアー作動時のコンプレッサーの動作音ならびにエア어의排気音
- エアーバッグが膨らむときに出る音
- 脚部を出したり収納したりするときのこすれ音（キュー音）
- 左右のもみ玉の高さが異なる
（交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。）

警告

絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。

発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。



こんなときは	ここを点検してください	対応のしかた	参考ページ
動作しない	電源コードの電源プラグが抜けていませんか？	電源コードの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	8・11
	本体左側の下部にある電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください。	8・11
動作せず リモコンから ピッピッの 連続音がする	外来雑音による、誤動作が考えられます。	本体左側の下部にある電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグを差し直してください。	8・11
動作せず リモコンの ランプが点滅 する			
動作が途中で止まる (リモコンを 押しても動作 しない)	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動させた後に、本体左側の下部にある電源スイッチを「ON」にしてください。	7・8・11
	無理な力がかかっていますか？ (安全のため、もみ玉に無理な力がかかると安全装置が働き、全ての機能が停止します。)	一旦背もたれ部から体を離し、本体左側の下部にある電源スイッチを「ON」にし、もう一度初めから操作し直してください。	8・11
	長時間連続して使用していませんか？	長時間使用するとモーターの温度が上昇し、安全装置が働きます。1時間程度、本体を停止させてください。	—
リクライニングができない	電源コードの電源プラグが抜けていませんか？	電源コードの電源プラグをコンセントに差し込んでください。	11・13
	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動してください。	8・9・14
	脚部の下に障害物はありませんか？	障害物が脚部底面に当たると安全スイッチが働きます。障害物を取り除いてから操作し直してください。	14・15

お願い 上記の対応を行っても、正常に動作しない、または同じようなことが度々生じる場合には、本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問合せください。

故障かなと思ったら

愛情点検



愛情点検
長年ご使用の場合は
点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

注意



しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本器が正常に動作することを確認してから使用する。事故やけがのおそれがあります。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

- **保証書（取扱説明書の裏表紙にあります。）**
お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 保証書に記載

- **補修用性能部品の保有期間**
当社はこのマッサージ器の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

29 ページに従ってしらべていただき、なお異常があるときは、使用を中止してください。電源スイッチを「OFF」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

- **保証期間中に修理を依頼される場合**
ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)
- **保証期間を過ぎて修理を依頼される場合**
まずご購入先にご相談ください。
修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

- **その他ご不明な場合**
アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先、または当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

仕様

品名	マッサージチェア	
品番	AS-650ZG	
類別	機械器具 77 バイブレーター	
一般的名称	家庭用電気マッサージ器 (JMDNコード 34662000)	
医療機器認証番号	223AGBZX00207000	
定格	電源 (50/60Hz)	AC100V
	定格時間	20分
	消費電力 (50/60Hz)	120W
メカ (もみ玉) マッサージの速さ	もみ	約 33 回 / 分
	たたき	遅 約 320 回 / 分 速 約 430 回 / 分
	上下移動	約 2.8cm / 秒
脚部マッサージ速さ	もみ	遅 約 15 回 / 分 速 約 22 回 / 分
	たたき (足裏)	遅 約 90 回 / 分 速 約 132 回 / 分
エアーマッサージ空気圧力	50 kPa 以下	
肩位置調節	7 段階調節	
足裏振動速さ	約 1500 回 / 分	
オートタイマー	約 15 分	
リクライニング角度	約 123 度 ~ 約 153 度	
寸法	リクライニングしていないとき (脚部を収納し、 リラクスクッションを取り付けたとき)	幅 約 680 × 奥行 約 1100 × 高さ 約 1060mm
	リクライニングしたとき (脚部を出し、 リラクスクッションを取り付けたとき)	幅 約 680 × 奥行 約 1740 × 高さ 約 830mm
質量	約 77kg	
張地	ポリエステル	
製造元	大東傲勝保健器 (蘇州) 有限公司 第二工場 DT-OSIM HEALTHCARE APPLIANCES (SUZHOU) CO.,LTD./(CHINA)	
	安吉特克能電器有限公司 ANJI TECHNO ELECTRIC CO.,LTD./(CHINA)	
製造販売元	株式会社フジ医療器 大阪府南河内郡太子町太子 2372-95	

商品名	マッサージチェア AS-650ZG	製造番号	
保証期間	お買い上げの日から1年間	保証対象	本体（但し、消耗品は除く）
ご購入者	フリガナ	お買い上げ日	年 月 日
	ご芳名		様
ご購入者	〒	ご購入先	
	ご住所		
	電話 ()		電話 ()

【無料修理規定】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ① 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入先にお申しつけください。
 - ② ご購入先に無料修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
 - ③ この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際して本書をご呈示ください。
- ご転居の場合、修理のご依頼先等は、ご購入先または取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入先に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ 本書の呈示がない場合
 - ⑥ 本書にお買い上げ年月日、ご購入者名、ご購入先の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

年 月 日	修理内容及び使用部品	担当者

- ※ お客様にご記入いただいた保証書の内容は保証期間内のサービス活動及びその後の点検活動のため記載内容を利用して頂く場合がございますので、ご了承ください。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。



美と健康の総合メーカー
株式会社 **フジ医療器**
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階
お客様相談窓口 フリーダイヤル ☎0120-027612

お客様相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

0120-027612
フリーダイヤル

受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
※但し、土日祝日、年末年始は休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号 06-6644-9103

E-mail フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受け付けております。

フジ医療器ホームページ <http://www.fujiiryoki.co.jp>

FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL